

学校名	使用用途	新・旧耐震基準	建築年度	構造	面積	優先度調査		二次耐震診断		耐震補強改修	
			※1		㎡	年度	ランク ※2	予定年度	Is値 ※3	実施年度	Is値 改修後
六栄小学校	校舎	旧	S44・S45	RC	1,468	H17	①	20年度	0.37	22年度	0.75
	校舎	旧	S48	RC	729	H17	③	20年度	0.63	22年度	0.77
	校舎	新	S60	RC	1,847	—	—	—	—	—	—
	屋内運動場	旧	S56	RC+S	930	H18	④	20年度	0.96	補強不要	—
腹赤小学校	校舎	新	H 1	RC	3,451	—	—	—	—	—	—
	屋内運動場	旧	S52	RC+S	934	H18	④	20年度	0.22	22年度	1.05
長洲小学校	校舎	新	H16	RC	4,774	—	—	—	—	—	—
	屋内運動場	旧	S55	RC+S	1,000	—	—	16年度	0.72	補強不要	—
清里小学校	校舎	新	H 3	RC	1,950	—	—	—	—	—	—
	屋内運動場	旧	S53	RC+S	778	H18	④	20年度	0.98	補強不要	—
腹栄中学校	校舎	旧	S54	RC	2,102	H17	②	20年度	0.52	22年度	0.77
	校舎	新	S62	RC	2,442	—	—	—	—	—	—
	屋内運動場	新	H20	RC+S	1,749	—	—	—	—	—	—
長洲中学校	校舎	新	S58	RC	3,358	—	—	—	—	—	—
	屋内運動場	新	H10	RC+S	1,616	—	—	—	—	—	—

《用語の説明》

■構造

「RC」鉄筋コンクリート造、 「S」鉄骨造

■耐震基準

「旧」耐震基準・・・昭和56年5月以前の耐震基準で建築された建物

「新」耐震基準・・・昭和56年5月以降の耐震基準で建築された建物

■Is値

手手者の構造的な耐震性能を評価する指標で二次診断等の結果として示され、国土交通省では安全の目安としてIs値が0.6以上(文部科学省では0.7以上)ある建物は、震度6強程度の大地震に対しても倒壊や崩壊する危険性が低いとしています。

0.3未満	大規模な地震(震度6強以上)が発生した際に倒壊または崩壊する危険性が高い
0.3以上～0.6未満	大規模な地震(震度7強以上)が発生した際に倒壊または崩壊する危険性がある
0.6以上	大規模な地震(震度8強以上)が発生した際に倒壊または崩壊する危険性が低い

※1 耐震診断の対象は、S56年以前建築で、非木造2階建て以上または延べ床面積200㎡超の建物

※2 優先度調査欄の○数字は優先度順位。数字が小さいほど耐震性なし

※3 Is値が0.7以上の場合は補強不要(耐震性あり)